

新型コロナウイルス陽性者（通所リハビリテーションご利用者）の報告について（第1報）

令和4年1月31日（夜）、介護老人保健施設サンビレッジ通所リハビリテーションのご利用者1名について、新型コロナウイルスのPCR検査において陽性であったとの連絡がありました。

当該ご利用者は、1月31日、来所後しばらくして咳症状があり喉の違和感を訴えられたため、念のためご家族に迎えに来ていただき、かかりつけ医を受診していただいております。同日夜に上記が判明したものです。

今後、保健所とも連携しながら対応させていただく予定ですが、通所リハビリテーション部門は2月1日より当面、利用休止とさせていただきます。

日頃より、ご利用者、ご家族の皆様にも多大なるご協力をいただき、職員一同、感染防止対策に最大限の注意を行っておりましたが、この度は、ご利用者の皆様及びご家族の皆様、また、関係者の皆様にも多大なるご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございません。

まずは、関係の方々への検査をすすめ、状況の確認をさせていただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和4年2月1日
社会福祉法人 東光会
介護老人保健施設サンビレッジ
施設長 小林 芳人

*なお入所部門につきましても、職員1名が陽性となったため1月30日まで検査と接触者の健康観察を続けておりましたが、フロアに短時間出入りしただけの職員も含め全員のPCR検査陰性を確認しており、また、当該職員が直接対応させていただいた入所者全員の方も陰性で、健康状態の変化もなく、職員からの感染拡大はなかったものと考えております。さらに、今回、ご利用者の陽性が判明した通所部門と、先週まで対応しておりました入所部門は基本的に別の職員が対応しております。施設内での感染拡大ではなく、全く別の市中感染を見ているものと考えますが、あらゆる可能性を否定せず、十分な検査や対応を行っていく予定です。